



# 女性が変革するデジタルワールド： より安全でインクルーシブな繁栄のために

(日本語仮訳)  
2023年4月13日

デジタル技術は、インクルーシブな設計と規制のもとで、前例のない力を与えることができます。しかし、あらゆる多様性を持つ女性と少女<sup>1</sup> [以下、「女性」と表記]は、デジタルの仕事、テクノロジー、AI の恩恵から特に排除されるリスクにさらされています。AI や新たなテクノロジーにおいて、テクノロジーを利用したジェンダーに基づく暴力 (tfGBV) が加速する危険性があることは明らかです。デジタルアクセスとリテラシー、STEAM 教育における持続的なジェンダーギャップ、データにおける女性の歴史的排除に基づく偏ったアルゴリズムは、時代遅れのジェンダー固定観念を永続させ、AI を含む新たなデジタルツールの創造と使用において女性が排除されること、そしてデジタルとテクノロジー分野のキャリアにおける女性の代表性の低さをもたらしています。そのため、ジェンダー対応と交差的な<sup>2</sup> アプローチを取り入れた規制や協調的な介入が急務です。

G7の指導者たちは、低・中所得国のニーズを考慮し、デジタル世界をより安全で、より包括的で、より公平にすることを約束する必要があります。そうでなければ、デジタル経済における女性の参加とリーダーシップのメリットは実現されせん。今日のコミットメントは、現在および将来の世代に多大な影響を与えることとなります。

Women7 (W7) は、以下のアクションを提案します：

## AI と新たなテクノロジーに関する規制枠組みの構築と導入

AI と新たなテクノロジーは多くの利益をもたらす一方で、基本的人権の問題もあります。遍在する AI、偏ったアルゴリズム、急速なデジタル変革は、放置すれば修復が不可能な不公平を定着させる危険性があります。

- ユネスコの AI 倫理に関する勧告 (2021年) を全面的に採用・実施し、人権に基づく AI 規制の確立に社会全体で関与する必要がある。アルゴリズムの監査と追跡を義務付け、説明責任の為に情報ログを保持する。
- 国家デジタル政策は、ジェンダー平等を促進するために、既存のジェンダー差別的偏見が AI システムで変換されたり増幅されないようにすることが必要である。そのためには、既存のジェンダー不平等を是正するための支援や資金を含め、ジェンダー平等を志向する視点とジェンダー平等行動計画の両方を含める。
- 研究開発から展開まで、データと機械学習の AI システムのライフサイクルのすべての段階において、ジェンダーバランスをとるための規制政策を奨励する。女性のソフトウェアエンジニアや起業家を AI の世界に送り出し、テクノロジー企業の上級職におけるジェンダーパリティ (公正) を促進する。

## テクノロジーを利用したジェンダーに基づく暴力に対処する

政府、司法部門、ソーシャルメディア企業は、テクノロジーを利用したジェンダーに基づく暴力 (tfGBV) に対する保護を提供する責任を負っています。

- 人権侵害やデジタル被害を防止するため、人権理事会、特別手続き任務保持者、国連人権高等弁務官事務所 (OHCHR) と協力し、ラバト行動計画、女子差別撤廃条約 (CEDAW)、女性・平和・安全保障 (WPS) 課題に沿ったヘイトスピーチやフェイク情報に関する国際ガイドラインを作成することにコミットする。
- 政府は、テクノロジーを利用したジェンダーに基づく暴力 (tfGBV) を予防し、撲滅するため、全方位的な策定と資金調達により強力な法的規制を早急に適用する必要がある。また、ソーシャルメディア企業に対しては、迅速かつ正確に事件を検出するための対応可能なコンテンツモデレーション、報告システム、ローカライズソフトを制定し、年齢に応じたメッセージを現地語でユーザーに提供し、法的情報を入手することを義務付ける。
- オンライン依存症の心理カウンセリング、オンラインいじめや嫌がらせの被害者への支援、説明責任と救済プロセスに関する啓蒙活動など、ソーシャルメディア利用者のメンタルヘルスを支援するための運営体制を十分な資金で確立する。

## 女性のためのデジタルと STEAM 関連教育の強化

女性の経済的エンパワーメントを実現するためには、家庭から始まり、高等教育やキャリアを通じて、デジタル・STEAM 分野の教育、スキル、仕事における著しいジェンダーギャップに対処する必要があります。

- 教育カリキュラムを変革し、小学校からコーディングやゲーミフィケーションなど、ジェンダーに対応したデジタルスキルや STEAM 教育を取り入れることで、性別を問わず同様の機会を提供する。また、女性にフォーカスしたイノベーションに資金を提供し、SDGs、AI、将来の社会的課題に対応する多様なキャリアにおいて、STEAM やデジタル能力の価値と必要性を女性に強調する。
- 少女と女性の間で有意義なメンターシッププログラムを創設・拡充し、STEAM 領域の女性リーダーや教師の生徒への可視化を優先的に行う。開発途上国における開発と教育のためのデジタル技術の効果的な統合を支援し、資金を提供する。
- STEAM を推進するために、教師、保護者、子ども向けの啓発研修でジェンダーバイアスを軽減する。

## 女性がデジタル革命に向けて準備ができるよう、デジタルアクセス、リテラシー、スキリング、リスキリングを通じた支援を行う

現在ほとんどの仕事にはデジタル要素が含まれています。デジタルアクセス、リテラシー、スキル、公平な法律の強化は、女性の労働移動、経済的・社会的エンパワーメント、デジタル分野の仕事にとって重要です。

- 政府は、差別化された価格設定やデータに対する補助金、または事業者のインセンティブを提供することで、女性のスマートデバイスとデータの両方へのアクセスを確保し、デジタルアクセスの格差を是正すべきである。
- ジェンダーに基づくデジタル格差を解消するために、教育レベルにかかわらず少女がデジタル技術にアクセスできるよう、交差的視点による、少女のデジタル技術へのアクセス、教育、利用に関するデータを含んだジェンダー別データを収集する。ジェンダーに基づくデジタル格差を解消するためのすべての政策の有効性と透明性を強化するために、監査やインパクト評価を導入する。
- 女性がデジタル労働市場で、スキルを身につけ競争力を発揮できるよう、労働市場のニーズに合った教育・職業カリキュラムを提供する。また、女性の生涯学習と労働移動を促進するため、デジタルリテラシー、スキル、実習に関するジェンダーに対応した公的プログラムを支援し、資金を供給する。
- 誰も取り残されることなく、新しい仕事への移行や既存の仕事への再就職を促進するために、スキルマップや開発においてジェンダーに対応した政策を優先するよう雇用主に奨励する。

## 女性のニーズに合った技術を生み出す

政府、企業、その他の関係者は、女性が意義ある形で、デジタル技術の進歩に影響を与えることができるように戦略や政策、法律、予算を策定しなければなりません。

- 女性のニーズ、希望、状況、好み、優先順位に対応した技術を生み出すために、投資、研究、公共政策設計、ビジネスにおけるジェンダー主流化と女性のデジタル分野への参加を優先的に行う。
- 女性の潜在能力を引き出すためには、ジェンダーを変革するイノベーション・エコシステムの枠組みを構築する必要があります。特に農業と食料安全保障、サプライチェーン、気候、ヘルスケア、その他の重要なセクターにおいて、女性の意思決定とツール作成能力、起業能力、デジタル人材パイプラインの強化を構築するための包括的でジェンダー対応のサポートを具体化する。
- モバイルバンキング、財務管理ツール、ローン、マイクロローン、保険など、ジェンダーに対応したデジタル金融商品・サービスへの女性のアクセス、トレーニング、利用を増やす。



## 厳選された用語集

**AI システムライフサイクル** - モデルやアルゴリズムの研修を含む、AI ソリューションの作成と使用における設計、開発、展開の反復・繰り返しのプロセス(米国 GSA)。

**CEDAW と選択議定書** - 女子差別撤廃条約 (CEDAW) とその選択議定書は卓越した国際人権条約であり、選択議定書は、各国の CEDAW 完全実施に関する苦情や問い合わせを国連人権高等弁務官事務所に持ち込むことができるメカニズムを確立している。

**ジェンダー主流化** - あらゆる計画における女性と男性への影響を評価するプロセスであり、女性と男性が等しく利益を受け、不平等が持続しないようにすることを目的としている (UN Women, 第67回国連女性の地位委員会)。

**ジェンダーを変革するイノベーションエコシステムの枠組み** - 女性が高度なデジタルスキルを習得し、起業能力を高め、デジタル人材パイプラインを強化するための、STEAM、コーディング、デジタルリテラシーの学校教育から起業家人材、デジタルアップスキル、金融支援、公共調達まで、技術利用に関するジェンダー別データを活用する枠組み。

**人権理事会、特別手続き任務保持者** - 国連人権理事会はすべての人権と基本的自由を保護、促進する。特別手続き任務保持者は、テーマ別または国別の観点から人権について報告、助言する独立した人権の専門家 (UN-OHCHR)。

**ラバト行動計画** - 差別、敵意または暴力の扇動となる国家、人種または宗教的憎悪の提唱の禁止 (UN-OHCHR)。

**STEAM 教育** - 科学、技術、工学、芸術、数学 (STEAM) の科目教育。

**テクノロジーを利用したジェンダーに基づく暴力 (fGBV)** - ジェンダーに基づく女性や少女に対するテクノロジーやオンライン空間の悪用や武器化 (UNFPA)。例えば、フェミサイド、オンラインでのジェンダーハラスメントやセクシャルハラスメント、ネットいじめ、ハッキング、サイバーストーカー、個人情報公開 (doxing)、テクノロジーを利用して女性を探し出し身体的暴力を加えるなど(ただしこれに限定しない)。

**ユネスコの AI 倫理勧告 (2021年)** - 人権と人間の尊厳の保護・促進を目的とした、AI の倫理に関するグローバルな基準設定文書。現在および将来にわたって、デジタル世界における法の支配の強化を支援する (ユネスコ)。

**女性・平和・安全保障の議題** - 女性・平和・安全保障 (WPS) 2000年、および若者・平和・安全保障 (YPS) 2018 年は、紛争の予防と回復、持続可能な平和構築のあらゆる側面における女性と若者の可視化、包摂、参加に関する政府、国連機関、市民社会パートナーへの具体的な提言を行う (UN-DPPA)。

<sup>1</sup> 多様性には、以下のような属性を持つ人々が含まれる: 疎外され周縁化されてきた女性と少女、貧困状態にある女性と少女、障害女性、先住民族およびその他の人種的・民族的マイノリティ、高齢者、多様な SOGIESC (性的指向、性自認、ジェンダー表現、性的特徴) の人びと、HIV/エイズ感染者、セックスワーカー、難民、移民、拘禁状態にある人びとおよび紛争地域を含む人道的に厳しい環境におかれている人びと、遠隔地の農村地域に住む人々などが挙げられる。

<sup>2</sup> 交差性の概念は、ジェンダー、人種、民族、性的指向、性自認、障害と能力主義、階級や他の形態の差別に基づく不平等に根ざしたシステムが交差的に作用することによって生じる状態や効果を表す。複数の不平等の形態が互いに影響し合うため、ある不平等の形態が別の形態の不平等を強化することを防ぐために、これらの不平等を同時に分析し対応する必要がある。(Center for Intersectional Justice の定義に若干の修正を加えている: <https://www.intersectionaljustice.org/who-we-are>)。